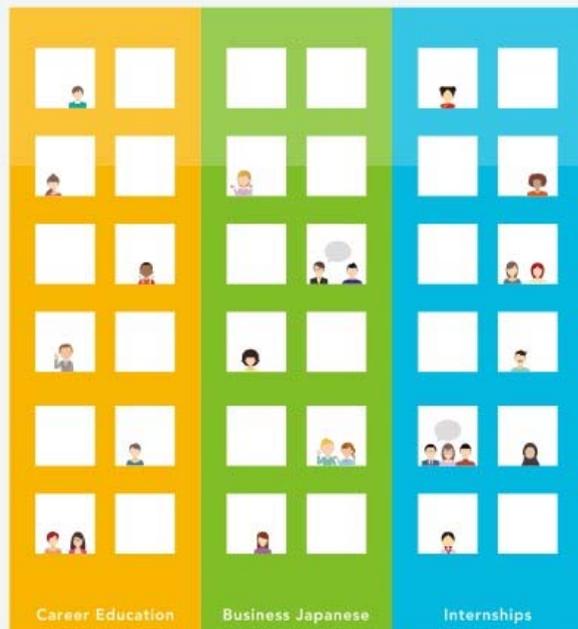


独立行政法人 日本学生支援機構主催  
令和元年度 学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー

愛媛で「学び」  
愛媛で「働く」  
私達は  
日本企業の力となる  
人を育てています



## 外国人留学生の 国内就職と活躍推進に向けて

—文部科学省「留学生就職促進プログラム」の実践から—

愛媛大学  
国際連携推進機構  
留学生就職促進プログラム推進コーディネーター  
泉谷 道子

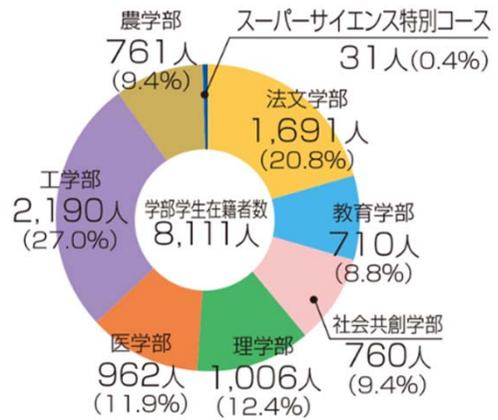


文部科学省採択事業「留学生就職促進プログラム」  
愛媛の大学と企業が育てる  
高度外国人材育成プログラム

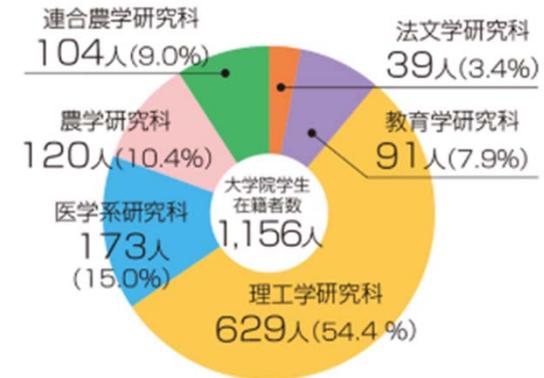
愛媛大学国際連携推進機構



# 愛媛大学の規模(学生数等)

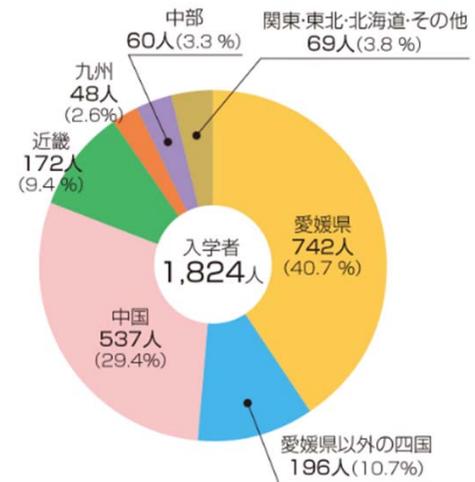
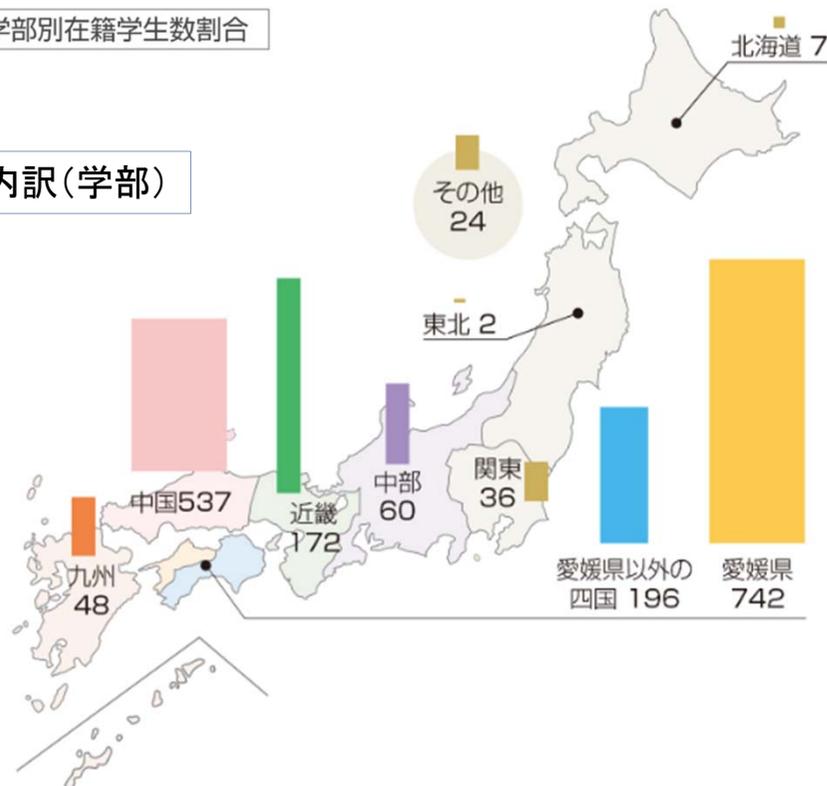


学部別在籍学生数割合



研究科別在籍学生数割合

出身地別内訳(学部)

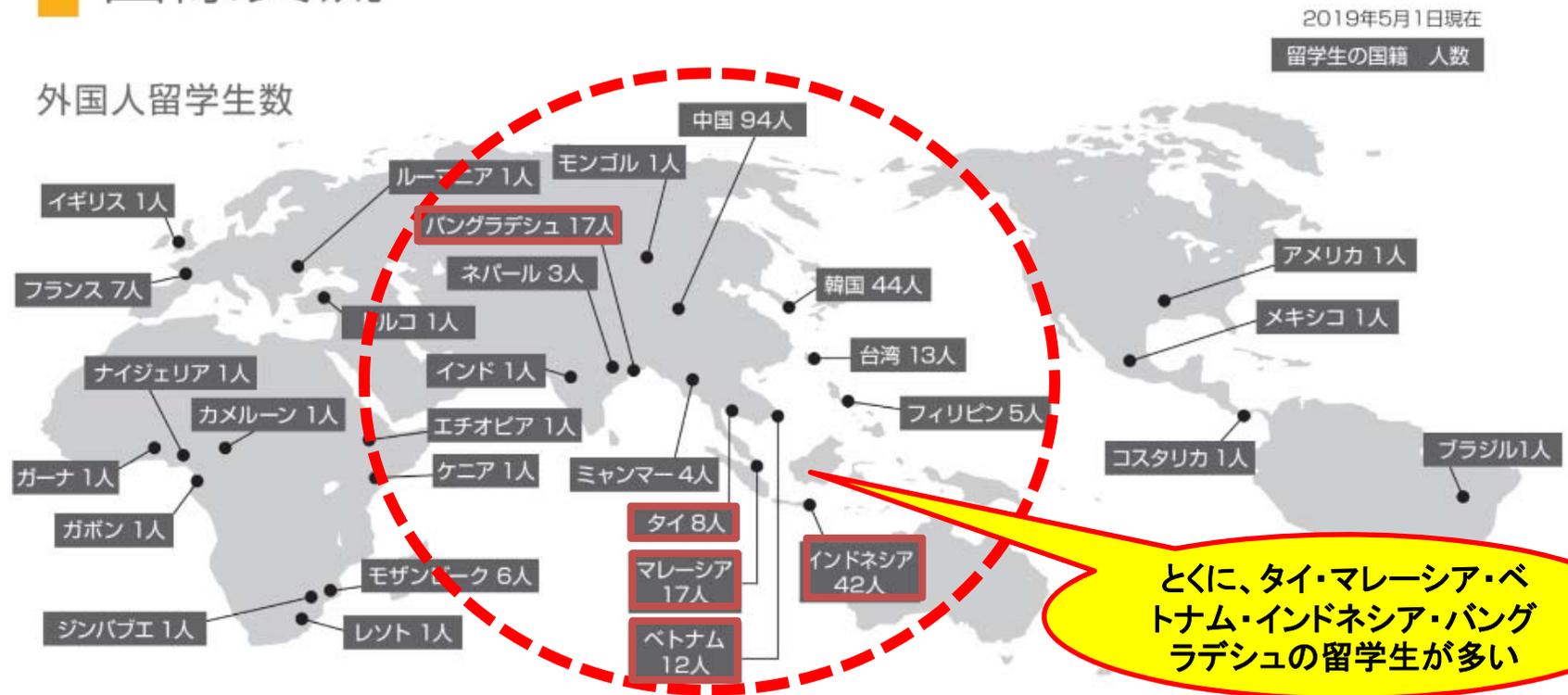


令和元年5月1日現在

# 愛媛大学の外国人留学生数と国籍

## 国際交流

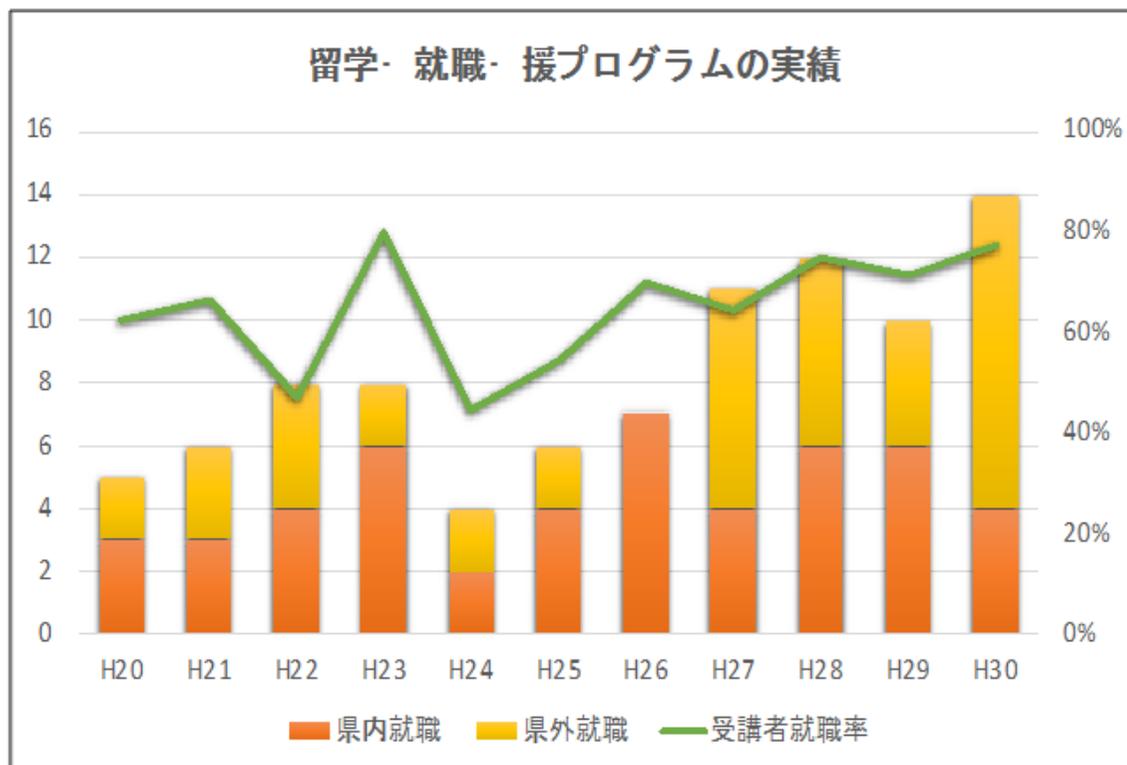
外国人留学生数



留学生の国籍 **30カ国・地域**から **289人**

学术交流協定数 **34カ国・地域72機関 142協定**

# プログラム受講生の就職状況



- ◆愛媛大学の留学生就職支援  
平成19年度～ 経済産業省採択事業  
「アジア人財資金構想」
- 平成23年度～ 愛媛大学「世界と協働できる  
グローバル人材育成プログラム」
- 平成29年度～ 文部科学省採択事業  
「留学生就職促進プログラム」

卒業生の  
4人に1人が受講

- ◆第1期生(H20年度卒)～第11期生(H30年度卒)  
受講生 139名  
就職者 91名

**県内就職率 59%**

(国内就職者 83名、県内就職者 49名)

## 【平成30年度卒業予定プログラム受講生(第11期生)の内定実績】

受講生:18名 (就職内定14名, 進学2名, 帰国2名)

就職内定:14名 国籍:中国, イエメン共和国, インドネシア, 韓国, ベトナム, マレーシア

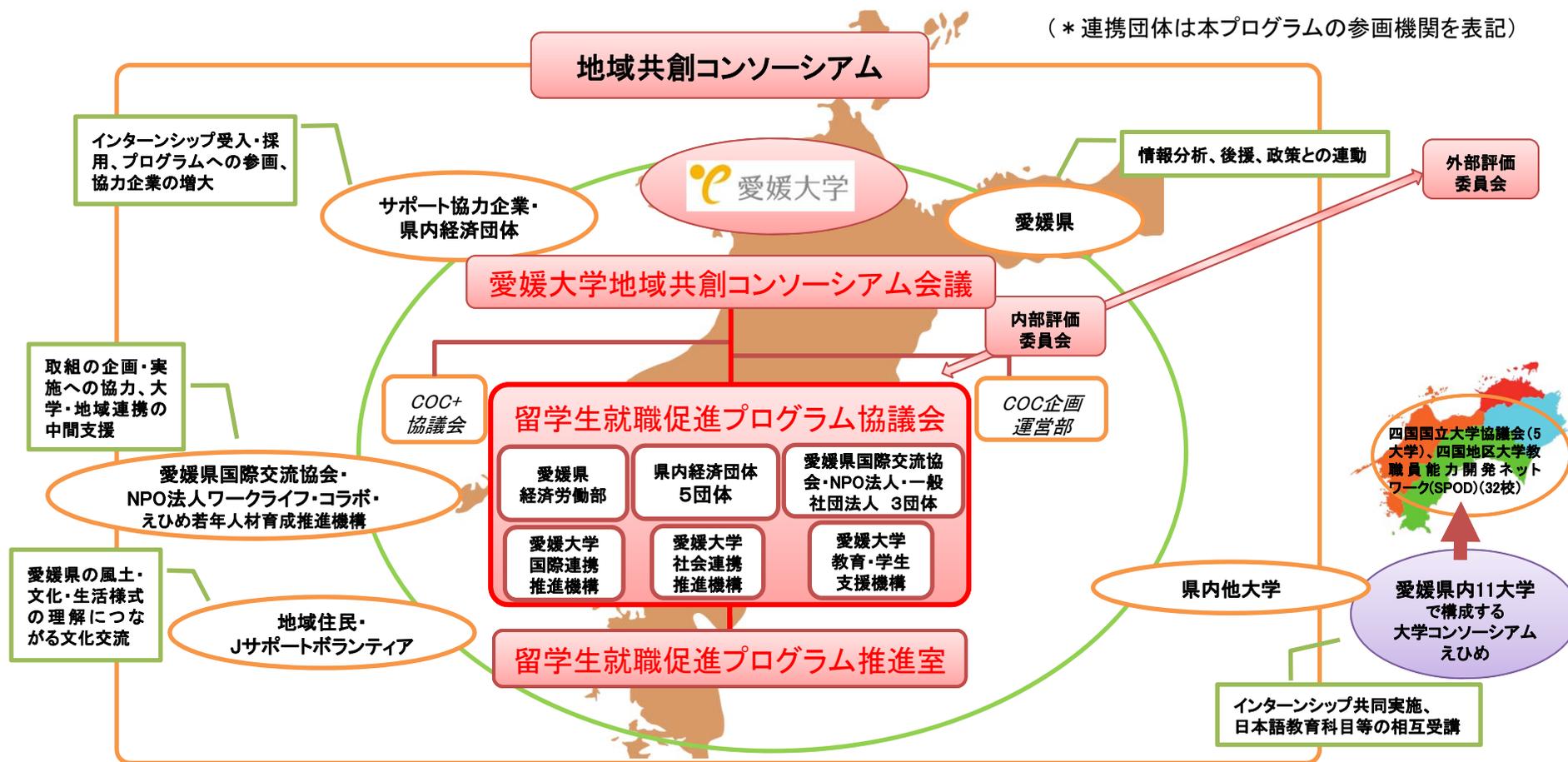
所属:理工学研究科, 法文学研究科, 工学部, 法文学部, 農学部

内定先企業:県内4社 井関農機株式会社, 株式会社NPシステム開発, 株式会社トップシステム, 村田宝飾株式会社,

県外10社 アルファグループ株式会社, 川研ファインケミカル株式会社, 株式会社共和, 極東興和株式会社, 住友電装株式会社, 株式会社中央コンタクト, 株式会社ニチリン, 日本高周波鋼業株式会社, 日立アプライアンス株式会社, ヤマウチ株式会社

# “オールえひめ”による協働実施体制

(\* 連携団体は本プログラムの参画機関を表記)



◆既設の「共創コンソーシアム会議」の下に「留学生就職促進プログラム協議会」を設置

◆2019年5月には愛媛県の呼びかけにより「愛媛県外国人材雇用・共生推進連絡協議会」を発足  
 構成メンバー: 国・県・市町の12部門および経済団体・国際交流協会・留プロ推進室等9団体

“オールえひめ”  
 連携の強化

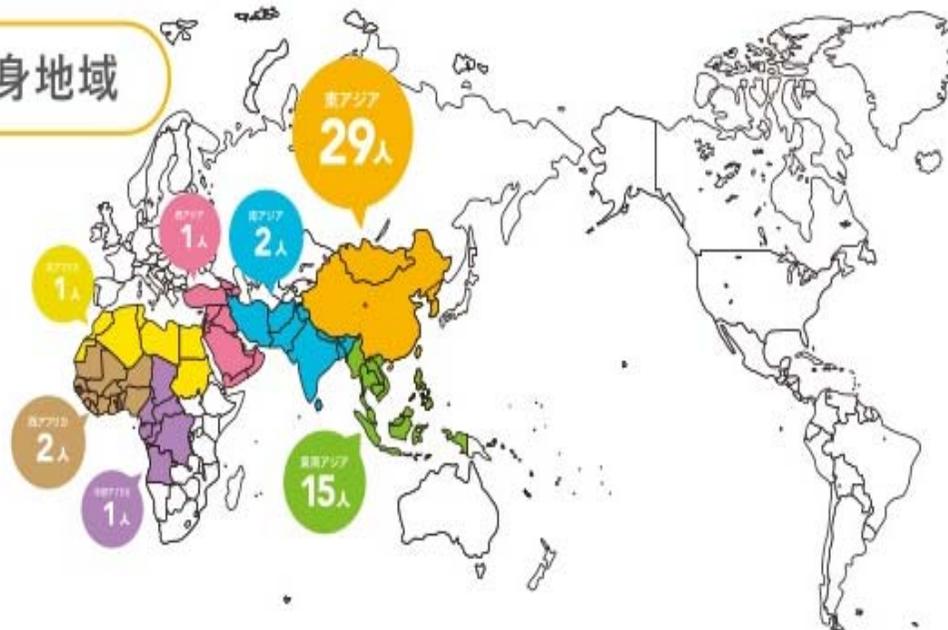
# 受講生データ

平成30年度 プログラム留学生(正規生)51名

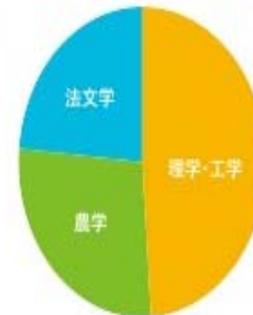
## 受講生DATA

### DATA 01 出身地域

- 東アジア 29人
- 東南アジア 15人
- 南アジア 2人
- 西アジア 1人
- 北アフリカ 1人
- 西アフリカ 2人
- 中部アフリカ 1人

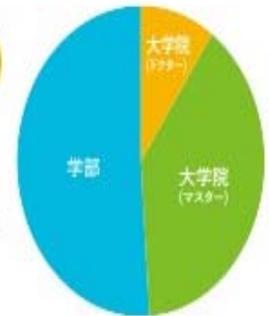


### DATA 02 分野



### DATA 03 所属

- 大学院(ドクター) 5人
- 大学院(マスター) 20人
- 学部 26人



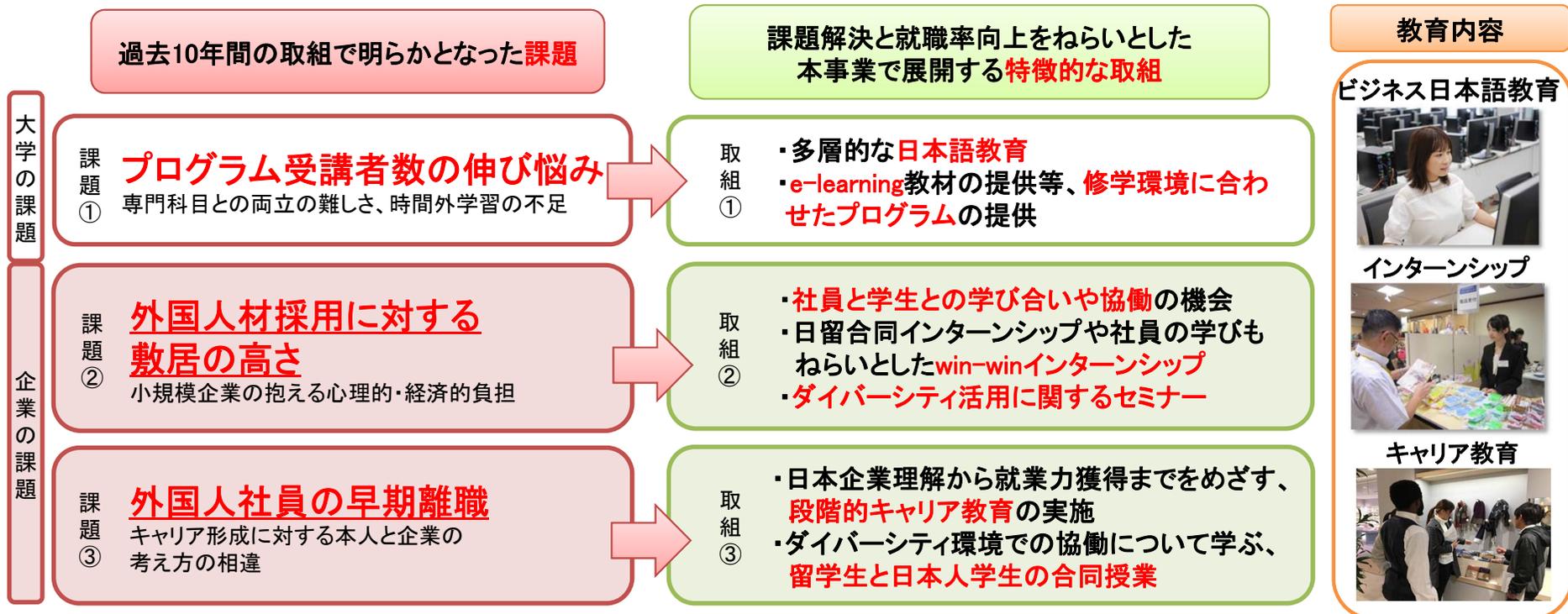
### DATA 04 日本語レベル



(平成31年2月現在)

# 愛媛大学のプログラムにおける特色

【着想】 愛媛の大学や企業が抱える外国人材に対する課題を解決し、“留学生の日本就職者数を倍増する”とともに、県・企業・地域の連携を強化し、“愛媛全体の留学生を含む若年人材の活用促進”につなげる。



# “留学生と企業をつなぐ”プログラムの内容

## 地元企業・地域における外国人材活躍の促進

プログラムへの参加・留学生の受入れを通じて、企業内グローバル化の促進・研修担当社員のスキルアップをはかる

### ビジネス日本語教育



理系学生向け日本語科目の開設の他、受講生全員が卒業までに「日本語能力試験」「ビジネス日本語能力テスト」の高スコア獲得を目標に、e-learningや補習教材を併用し、効果的・持続的な日本語学習を進める。

#### 【学習意欲を高めるために】

- ・JASSO、JEES奨学金
- ・スマホ対応自主学習教材

### キャリア教育



低学年から段階的に、企業の社員との関わりを通して、愛媛の文化・産業、魅力的な企業の戦略等を学び、外国人材が日本企業から求められている役割について理解する。

#### 【授業題目の例】

- 「留学生と日本人学生が共に学ぶ地域ビジネス戦略入門」
- 「留学生と日本人学生が共に学ぶ組織開発理論とその実践」

### インターンシップ



キャンパスと職場を行き来するものから長期研修型のものまで、目的や到達目標を明確にしたインターンシップに参加し、企業文化理解や人間関係構築の経験を積む。

#### 【インターンシップの提案】

- 課題解決型、業務遂行型、その両方を含むハイブリッド型等のインターンシップモデルを企業に提案、10日間以上の研修を実施

# “ともに人材を育てる” — 大学と企業との協働の形

## 「高度外国人材」育成を通じた 愛媛地域・企業の「世界の成長を愛媛に呼び込む」力の強化

「育成人材の就職先：留プロサポート協力企業等」



### 愛媛大学留学生就職促進プログラム推進室(愛大留プロ推進室)

愛媛大学 国際連携推進機構・社会連携推進機構・教育・学生支援機構・各学部等部局横断型全学組織

# サポート協力企業へのアンケート結果

Q1. 現在、外国人留学生の採用を考えていますか？



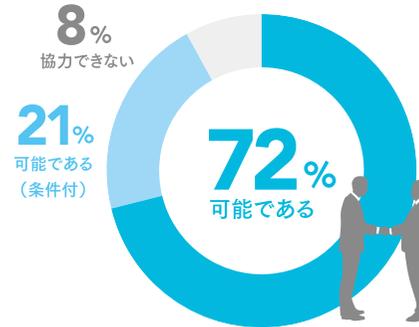
● 希望出身国・地域

アジア	うち中国	欧米	指定無し
20社	7社	5社	3社

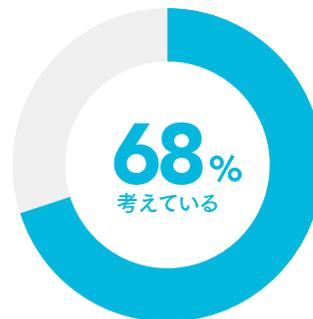
● 希望言語

英語	中国語	指定無し
16社	4社	6社

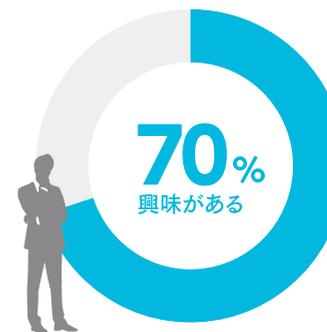
Q2. 外国人留学生のインターンシップ受入は可能ですか？



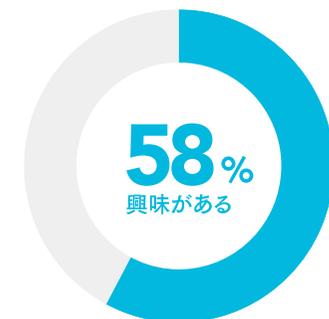
Q3. 外国人留学生向け企業合同就職説明会等への参加は考えていますか？



Q4. 大学資源を活用した、人材育成、組織開発、社内のグローバル化に関心のある企業とのキャリア教育授業への参加に興味がありますか？

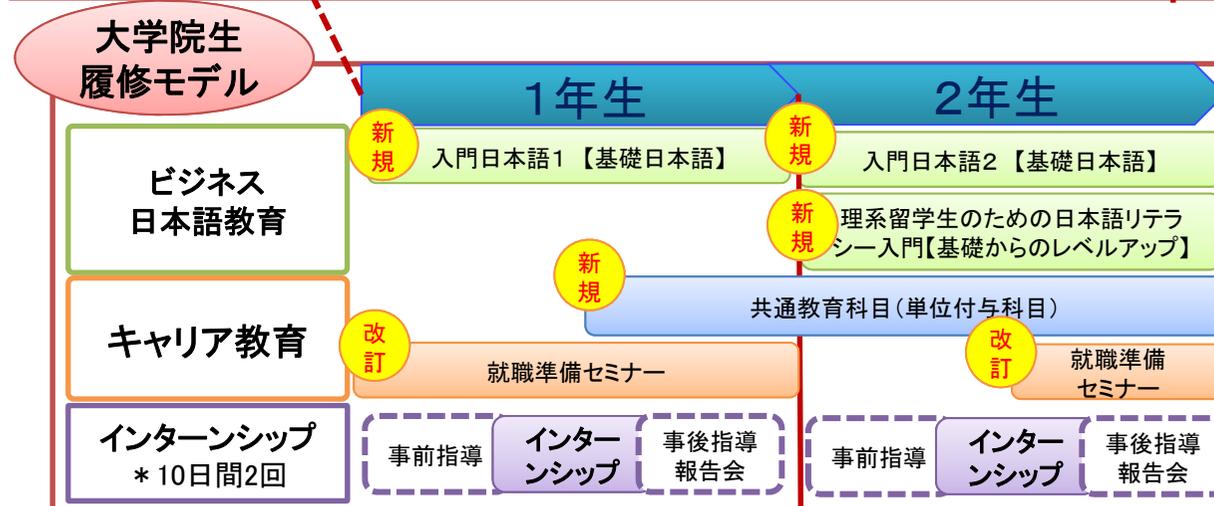
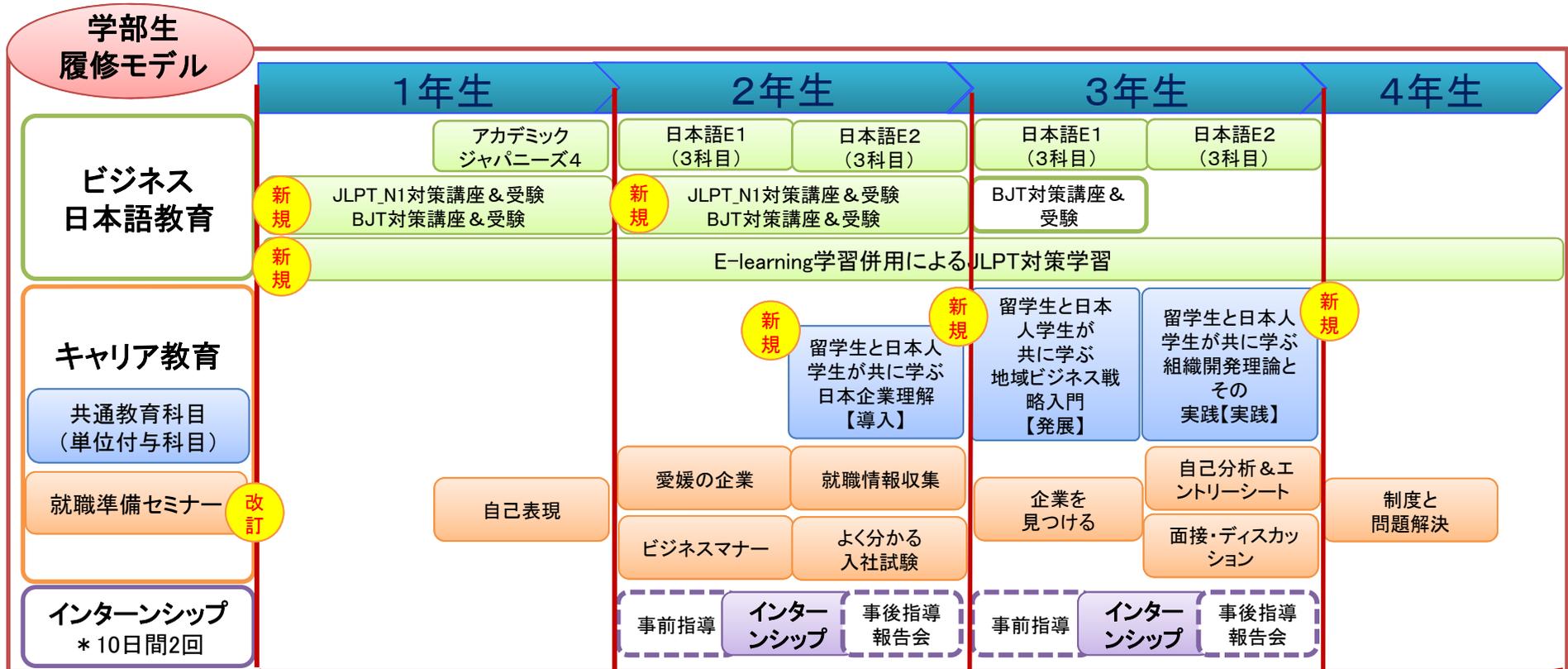


Q5. 外国人留学生と日本人学生、そして企業の社員が共に取り組むワークショップ等に興味がありますか？



サポート協力企業数  
**205社**  
2019年度9月

# 留学生就職促進プログラム履修モデル(プログラム開講授業)



## 愛媛大学キャリア教育設計に特徴的な3つの要素

① 動機・性格・信念・  
価値観等、潜在的な  
個人的属性について  
深く考える

- 「母国では自己の特性や強みを踏まえたキャリアビジョンについて検討する機会が乏しい」
- 就職活動での『なぜ日本で就職したいのか?』『将来はどうしたいのか』⇒志や生き方にまで関わるような問いかけ

② 同じメンバーによ  
る継続的支援・教育

- 企業にとって留学生を見極めることが課題(アジア人財資金構想の調査結果より) ⇒ 学生のニーズと企業のニーズ両方を深く知ることが求められる

③ 留学生個々人が  
持つ資質能力を直接的  
に知る機会の提供

- 「外国人であることが企業内で尊重されている」「職場の日本人との良好な関係が構築できている」⇒「企業への定着志向を強める」(園田, 2017)

キャリアを作る要素  
What are the elements of career?

知識・技能・人脈  
Knowledge・skills・network of connection

行動特性・思考特性  
Behavioral and thinking characteristics

態度・習慣  
Attitude・custom

マインド・価値観・信条  
Mindset・values・belief

## 愛媛大学キャリア教育設計に特徴的な3つの要素

① 動機・性格・信念・  
価値観等、潜在的な  
個人的属性について  
深く考える

- 「母国では自己の特性や強みを踏まえたキャリアビジョンについて検討する機会が乏しい」
- 就職活動での『なぜ日本で就職したいのか?』『将来はどうしたいのか』⇒志や生き方にまで関わるような問いかけ

② 同じメンバーによ  
る継続的支援・教育

- 企業にとって留学生を見極めることが課題(アジア人財資金構想の調査結果より) ⇒ 学生のニーズと企業のニーズ両方を深く知ることが求められる

③ 留学生個々人が  
持つ資質能力を直接的  
に知る機会の提供

- 「外国人であることが企業内で尊重されている」「職場の日本人との良好な関係が構築できている」⇒「企業への定着志向を強める」(園田, 2017)

# 愛媛大学キャリア教育設計に特徴的な3つの要素 その②



Miwa ISSHIKI  
キャリアコンサルタント



Hanae KIKUCHI  
キャリアコンサルタント



Masao HINO  
客員教授・就職相談員



Eri FUKATA  
就職相談員



Tomomi SOGA  
就職支援員



Kyoichi HONDA  
事務補佐員



Tomoko ITSUKI  
室長・准教授



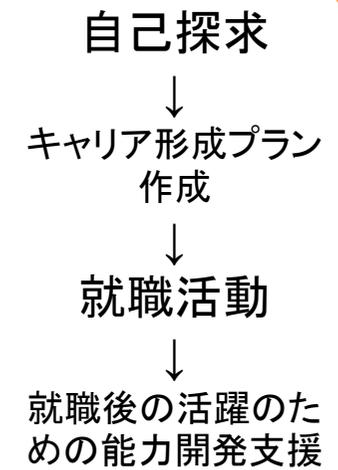
Michiko IZUMITANI  
推進コーディネーター・副室長・特定准教授



Osamu KOBAYASHI  
副室長・准教授



Nao TANI  
事務補佐員



同じ  
教職員が  
継続的  
支援

## 愛媛大学キャリア教育設計に特徴的な3つの要素

① 動機・性格・信念・  
価値観等、潜在的な  
個人的属性について  
深く考える

- 「母国では自己の特性や強みを踏まえたキャリアビジョンについて検討する機会が乏しい」
- 就職活動での『なぜ日本で就職したいのか?』『将来はどうしたいのか』⇒志や生き方にまで関わるような問いかけ

② 同じメンバーによ  
る継続的支援・教育

- 企業にとって留学生を見極めることが課題(アジア人財資金構想の調査結果より) ⇒ 学生のニーズと企業のニーズ両方を深く知ることが求められる

③ 留学生個々人が  
持つ資質能力を直接的  
に知る機会の提供

- 「外国人であることが企業内で尊重されている」「職場の日本人との良好な関係が構築できている」⇒「企業への定着志向を強める」(園田, 2017)

# 企業と連携した「キャリア教育」授業その①(共通教育科目)

企業の取組みについて学びながらダイバーシティ活躍について考察する

「留学生と日本人学生が共に学ぶ日本企業理解」(後期開講・2年生後期での履修を推奨・集中講義)90分×15回

## 到達目標:

- ① 愛媛県を拠点とする企業の海外進出や外国人活躍の状況について記述することができる
- ② 海外進出やグローバル人材の活躍が企業の経営効果の向上に寄与することについて、企業調査・分析結果にもとづいて説明できる
- ③ 自己の興味・関心、価値、強みに関連する職種について考察することができる
- ④ 自らの就業力を高めるための就業力開発計画を作成することができる

## 主な内容:

グローバル企業の様々な取組みについて知ることを通して、地域社会で活躍するグローバル企業が持つ資源(人・もの・環境等)の特色について調査・分析し、経営効果の向上に果たす外国人や異文化コミュニケーション力を有する日本人(両者を併せてグローバル人材と呼ぶ)の役割について理解する。

主なテーマ:「コーポレートガバナンス」、「ダイバーシティ経営の効果」、「企業理念とリーダーシップ」、「キャリアを作る要素」、「表現としての仕事」、「セルフリーダーシップ」



時代が求める多様な人と協働する力を目指よう!

### 留学生と日本人学生が共に学ぶ日本企業理解

Understanding Regional Business & Industries for International & Japanese students



**登録締め切り: 5月16日(水)**

- カイダンス:  
5月8日(火)・9日(水) 11:50~12:20  
場所: 釜大ミュージアム2階 202号室  
※ 上記日程のいずれかに参加してください (学習支援室1) (学籍支援室1)
- 開講時期・履修者の決定: 5月10日~16日
- 授業実施期間: 6月11日(月)~8月3日(金)  
※ 詳細なスケジュールは受講生の履修スケジュールにのべてあります。
- 対象者: 全学部3年生  
(※それ以外の方は留学生支援プログラム事務局に相談してください)

● 担当教員: 泉谷 道子 (心理学博士)  
富山県山形市生まれ。山形大学経済学部心理学科卒業。大学卒業後、2008年より釜大で、心山学を中心としたグローバル教育・生涯学習に携わり、海外で50以上のリーダーシップ研修のプログラムを実施。2017年より釜大の大学院で「留学生支援プログラム」にて留学生向けに「企業・外国人キャリア教育」を担当。現在はNouchi Japanにて、企業に関するお問い合わせ: mbumi@pcchime-u.ac.jp

企業の取組みについての講話や企業見学を通して、自己の興味・関心・強みを深め、キャリア形成プランを作成します。

- ✓ 要拠点を拠点とする企業の海外進出や外国人活用状況について知る
- ✓ 自己の興味・関心・強みに合致する職種や企業について考察する
- ✓ 就職活動をより効果的なものにするための活動計画を作成する

**グローバル市場に挑む 地元企業に学ぼう!!**

# 企業と連携した「キャリア教育」授業その②(共通教育科目)

## 企業の課題に取り組みながら地域ビジネス戦略を学ぶ

**「留学生と日本人学生が共に学ぶ地域ビジネス戦略入門」**  
(後期開講・3年生前期での履修を推奨・集中講義)90分×15回

### 到達目標:

- ① 地域資源を活用して海外進出やインバウンド向けビジネスに取り組む企業の状況について説明できる。
- ② 企業の現状課題を発掘し、新たな地域資源を活用した解決方法を提案することができる
- ③ 多文化集団の成長を捉えるフレームワークを用いて、グループ活動を評価できる
- ④ 多文化環境におけるリーダーシップ開発のための活動計画を作成することができる

### 主な内容:

提供される情報(企業見学、職場体験、外国人従業員との情報交換等)に基づいて、地域資源を活用したビジネス戦略についての課題を見出しその解決方法を提示できることを目指す。留学生と日本人学生が協働して課題解決に取り組む中で、多文化集団に特徴的な障壁や効果について体感し、多様な集団で活躍し続けるために必要な能力開発計画を作成する。

**主なテーマ:** 企画立案方法、マーケティング手法、自己分析



時代が求める多様な人と協働する力をつけよう！(グローバル人材育成に資する科目)

### 留学生と日本人学生が共に学ぶ 地域ビジネス戦略入門

Introduction to Regional Business Strategies for International and Japanese students

登録締め切り: 5月31日(金)

●ガイダンス: どちらかの日に参加してください  
5月15日(木)・22日(水) 12:00~12:30  
豊大ミュージアム2階 211号室(学習支援室2)

●授業期間: 6月14日(金)~7月19日(金)  
\*金曜6期開講 6月29日(土)、30日(日)は学外授業

●対象者: 全学部 3年次生以上  
\*それ以外の方は泉谷まで相談を。

●担当教員: 泉谷 遼子(心理学者)

愛媛県松山市生まれ。米国ニューヨーク市立大学に留学。大学院卒業を経て2008年より愛媛大学、松山大学を中心に、異文化理解教育、心療学指導に携わり、国内外で50以上のリーディングシップ教育プログラムを企画・実施。2017年より愛媛大学の次世代学長候補「留学生経験促進プログラム」にて推進コーディネーターおよびキャリア教育を担当。輸出入を行うNourish Japan代表。授業に関する問い合わせ: mizumi@dpc.ehime-u.ac.jp

愛媛から世界に進出する  
注目の企業に学ぶ!

実習を通して海外でも活躍する注目企業について学び、現役社員とディスカッションをしてビジネス戦略を考えます。グループでリアルな課題に取り組むことで、以下を身につけることをねらいとしています:

- 立場や文化等が異なる他者との効果的なコミュニケーション力
- 地域資源を活用したビジネス課題解決方法
- 就職や卒業後の活躍のための自己開発マインド

17

# 企業と連携した「キャリア教育」授業その③(共通教育科目)

社員と共に組織開発を実践的に学ぶ

「留学生と日本人学生が共に学ぶ組織開発理論とその実践」  
(後期開講・3年生後期での履修を推奨・集中講義)90分×15回

## 到達目標:

- ① 企業の経営効果を高める価値創造のための新規事業を提案することができる
- ② 組織開発の理論を用いて、自己の集団活動を振り返り、組織の成長について解説することができる
- ③ 多文化集団活動における自己の強みと、伸ばすべき点とその方法について整理することができる

## 主な内容:

社員と共に課題に取り組み、企業の経営効果を高める新しい価値創造の手法について学ぶ。また、活動を通して、多様なメンバーで構成される集団の機能を最大化するための組織開発理論について整理し、理論と実践の往還を通して社会で活用するスキルを身につける。



主なテーマ:「国内観光の実態」(世界と日本の観光状況、愛媛の観光状況)、「効果的な集団活動のための自己開示と傾聴」、「ダーバシティ組織進化モデル」

# 「Win-Win」インターンシップ

## 〔受入企業の声〕

- ・**刺激があった**。外国人と接する機会が少ないので、チームの団結が必要ということで、職場でちょっとした勉強会を開いたりした。
- ・社員同士が英語を教え合ったり、**普段見られないコミュニケーションが見られた**。
- ・どの部署でも「**自分たちが学んだ**」という声が聞かれた。
- ・自分たちの業務内容の把握にもつながって良かった。
- ・日本人学生が1人入っていたので気分的には**非常に楽であった**。
- ・今回の受け入れ経験、学生の感想を参考に、**次回はさらに充実したカリキュラムを準備したい**。

文部科学省委託事業  
愛媛大学「留学生就職促進プログラム」

70<sup>th</sup> 愛媛大学  
1949.10.15.創設

一愛媛の大学と企業が育てる高度外国人材育成プログラム—

## “留プロ”のインターンシップを 企業の成長につなげませんか

私たちは「Win-Win」インターンシップに取り組んでいます  
「販路を拡大し、新たなビジネスモデルが構築できる」「異なる視点、価値観から新しい発想が生まれる」等、外国人材の活用  
のメリットは数多くあります。我が社も採用を検討しているがノウハウがない、どのように体制を整えればよいかわからない…  
そんな企業のみならず、まずはインターンシップで外国人留学生を受け入れてみませんか。

受入れ企業にとって考えられるメリット

- 企業の魅力・現状の可視化  
留学生の目線で自社の商品、サービス、仕組みの良い点・改善点をチェックし、今後益々高まるインバウンド需要に向けて、新たな戦略につなげることができます。
- 外国人採用に向けた具体的な準備等  
いざ外国人を採用するとなると、文化や習慣の違いによるソフト・ハード両面での整備が必要になります。その具体的な準備に向けた一歩になります。
- 若手社員のマネジメント能力の向上  
インターン生は明も知らない留学生。社員からの仕事の任せ方や進捗管理の方法を実体験として身につけることができます。

### 受入れ企業の声

- ・外国人採用に向けたシミュレーションができた
- ・外国人と接する機会が少なかったため、社員で勉強会を開いた結果、社員同士のコミュニケーションが活発になり、「みんなで受け入れる」体制が整った
- ・必要性に迫られ、社員の英語教育につながった
- ・留学生の熱意にどの部署も刺激を受けた



### 留学生の声

- ・授業で習得した知識が、現場でどう活けるかが分かった
- ・丁寧な仕事の積み重ねの上に、大きな成功があるということを学んだ
- ・コミュニケーション力の向上のために、さらに語学力を磨きたいと感じた
- ・日本の企業文化を感じることができた



■ インターンシップの種別 大きく分けて次の3タイプがあります

形式	内容	期間	時期
① セミナー型・見学型	職場体験や会社の見学、社員との交流などを実施する		7月～9月
② グループワーク型・プロジェクト型	グループである課題に取り組み、検討やディスカッションなどのグループワークを行って成果を発表する	5日間程度～ 20日間程度 (応相談)	10月～12月 1月～3月
③ 職務実践型	職場に実際に学生を配属し、個人のスキルを活かして実務に取り組む		

(組み合わせは自由)

外国人活用がもたらす経営効果 **直接的成果（財務的価値）**



以下をもとに泉谷が作成:

経済産業省経済産業省貿易経済協力局「高度外国人材活躍企業50社」<http://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180525002/20180525002.html>

経済産業省「価値創造のためのダイバーシティ経営に向けて」

0215<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyo100sen/entry/pdf/h27betten.pdf>

**間節的成果（非財務的価値）**

# “どんな企業で働きたいか” — プログラム受講生の声

## 生活しやすい地方企業

- 住む地域はなるべく家賃が高くない所で働きたい(台湾・法文学部)
- 会社のある地域は、周りにリラックスできる環境を持ち、生活しやすいところに就職したい。(マレーシア・工学部)
- 大企業ではなくて、中小企業に就職したい。中小企業の方がみんな仲よく出来る感じがする。(中国・法文学研究科)
- 大都会の企業ではなく、地方の企業で働きたい。その企業は中小企業で、社員は成長しながら、楽しく働ける。(中国・法文学研究科)



”It takes a whole village”



ご清聴  
ありがとうございました

